

総務企画

分科会(予算常任委員会)
常任委員会

委員会付託

- ・議案 2 件
- ・報告 2 件
(報告 2 件 議決不要)

分科会分担

- ・議案 2 件

総務企画常任委員会に付託を受けた議案および予算常任委員会総務企画分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／中西庸介
- ◆副委員長／森 憲一
- ◆委員／磯貝和典、久保吉彦、杉木 勉、杉本忠一

豪雨による農地被害

主な審議内容

【議案第75号】

平成30年度七尾市一般会計補正予算(第1号)

◆歳入の繰越金について

- ㊦前年度の剰余金2億5,600万円ほどがあり、今回の補正予算で4,200万円ほど使用することになっており、残りの2億1,000万円ほどが補正予算に計上されていないのではないか。
- ㊧平成29年度の決算収支は、5億円を超える実質収支になっている。このうち、2億5,600万円を減債積立基金に直接編入し、残りの額を繰越金として平成30年度に繰り越した。財源不足の財源として使わせていただいているので、今後の補正予算の財源として、引き続き使わせていただきたい。なお、民間の会計・決算とは違うため、決して隠しているわけではなく、決算書にもしっかり出ている。収支のバランスをとった予算を組むため、今後の補正予算のために留保しておくという考えである。

【議案第83号】

財産の取得について

◆はしご付消防自動車について

- ㊦なぜ富山市の業者になるのか。石川県内業者にならないのか。
- ㊧はしご自動車については、一般競争入札を行った中で、業者がこの業者1社のみだった。また、はしご車を全国で製造しているメーカーは2社しかないで、そのうちの1社となる。



はしご付消防自動車

【議案第92号】

平成30年度七尾市一般会計補正予算(第2号)

◆歳入について

- ㊦分担金の地元負担について、どこの地域でもそうだと思うが、過疎化して人口減少が進み、町会を維持するのも大変な状況。その中で、全国的にも、県内自治体でも地元負担を取らないという財政措置をして事業を進めている自治体が増えてきている。七尾市としては最低でも地元負担を10%以上に、場合によっては20%から30%の地元負担となっているが、地元負担を無くす流れにならないのか。なかなか町会で負担していくことが、今後困難になる。
- ㊧人口減少等によって町会の地元負担が重くのしかかっているという話だが、例えば農林水産業施設であれば負担はない。農地については、負担をいただいている。自分の財産という観点で負担していただくところである。また、県単荒地については、県との事業の中で地元負担をいただきながらということになっているので、基本的には自分の家の裏の崖を直すようなことに対して負担をいただきながら、ということになる。その他に別の事業で、市の単独事業であれば10%というものではなくて、がけ地防災で2分の1補助だが、上限100万円で軽微ながけ地も個人の財産を守るということで負担をいただいている。そういった中では、少しでも自分の財産を守るという観点での負担ということで理解いただきたい。



豪雨によるがけ地崩壊